



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルス・オミクロン株について～

東京都では3月21日で蔓延防止等重点措置が終了し、3月22日から4月24日までリバウンド警戒期間となりました。外出自粛要請はありませんが、混雑している場所や時間を避けて行動するよう呼びかけています。オミクロン株が流行してから、PCR陽性者数が増えているにも関わらず死亡率はかなり低下していることが統計上わかっています。このため、一部の政治家や医師から「指定感染症」の分類を「五類」に変更すべきだという意見が出ています。「感染症の五類」というのは、季節性インフルエンザと同等くらいというレベルです。重症化や死亡が認められるのは、持病のある高齢者や免疫抑制患者に限定されてきており、オミクロン株はかなり弱毒化しているとみられています。

～新型コロナワクチンについて～

3月から5～11歳の子どもに対する新型コロナワクチン接種が始まりました。現在接種されているワクチンは、武漢型の新型コロナウイルスを標的に造られており、変異の進んだオミクロン株に対する効果はかなり低いといわれています。オミクロン株に対する有効性については、ニューヨーク州の5～11歳小児のデータで、発症予防効果は12%と発表されています。これは、接種をしても発病を防ぐ効果がかなり低いということです。また、米国の5～11歳に対するmRNAワクチンによる副反応報告によると、2回接種後に日常生活に支障が出たり、登校できなくなる子供が約18%認められています。

新型コロナワクチンは、治験が最終相まで行われていない緊急使用であるために、発がん毒性や遺伝毒性については不明です。数か月後や数年後、あるいは次世代、次々世代までの影響が未知な状況です。もともと感染してもほとんど重篤化しない小児では、ワクチン接種について慎重に判断したいところです。

厚労省から4月13日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係は不明ですが累計1667人（前回から96人増）の方が死亡されていました。このうち、3回目接種後に亡くなられた方は163名でした。これらの副反応報告は厚労省のホームページからどなたでもご覧になれます。

表：3月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

文責：清水マリ子

	感染症	患者数
1	胃腸炎	88
2	溶連菌	60
3	新型コロナ	30
4	咽頭アデノウイルス	1
4	ヘルパンギーナ	1
4	突発性発疹	1
4	伝染性膿痂疹(とびひ)	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックパ-はクリニックホームページからご覧になれます。<https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお詫び～
職員の新型コロナ感染発生に伴い
4月8～15日の間休室となりました
ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません
18日より再開致します

～あんずからのお知らせとお願い～
★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。
★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★**病児保育室あんずでの新型コロナ対策**★
病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。